

2014年2月号 小島薬局漢方堂



パンダ通信

ご愛顧ありがとうございます

2月、早めの花粉症対策は漢方薬が特に効果的です!

2月は暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続きます。この季節になると毎年辛いのが花粉症ですね。今年花粉は昨年と比べるとやや少ないようですが、今までは平気でも花粉の量に関わらず突然発症するのが花粉症です。

漢方では花粉症は①バリア力不足②“**宿邪**”が大きな原因と言われています。宿邪とは、体内に潜んでいる病邪（炎症物質・免疫複合体など）です。花粉症などのアレルギー疾患の方は慢性的に宿邪があり、体調や季節によって症状が発症すると考えています。つまり体質改善でバリア力をつけ、宿邪を取り除くことが花粉症対策には必要です。

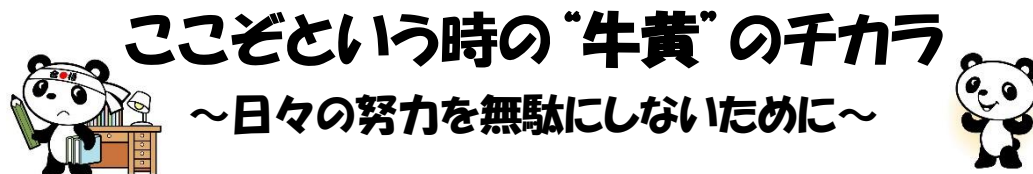
漢方ではウイルスや花粉など体に侵入し、害を与えるものを“外邪”といいます。この外邪から体を防衛する、見えないバリアの役目をしているのが「衛気」です。「衛気」を補うには「衛益顆粒」や「松寿仙」などの漢方薬を使います。これらはバリア力を高める効果があるので、免疫機能が改善されて、アレルギー反応が起こりにくくなり、花粉症の症状を軽くし、発症を予防してくれます。

シーズンの1~2ヶ月前から、お飲み下さい!!

また宿邪にはいくつかの種類があり、症状によって漢方薬を使い分けることでより効果を発揮します。くしゃみ・水っぽい鼻水・鼻づまりなどの症状には、呼吸器を温める作用がある「小青竜湯」を併用します。

逆に体が熱っぽく、目・鼻・喉の粘膜が赤く腫れ、鼻水も黄色く粘っている症状にはアレルギーによる炎症などの熱をさます「天津感冒片(涼解薬)」や「香菊花」を使用します。眠たくなることなく、花粉症を乗り切ることができます!!

花粉症でお悩みのお客様、お気軽にご相談下さいね!



ここぞという時の“牛黄”のチカラ

~日々の努力を無駄にしないために~

いよいよ、2/7から始まるソチオリンピック。日本は何個メダルが取れるか楽しみですね。

さて、まだまだ寒さが厳しい日が続いていますね。人間の体はある程度の温度差には柔軟に対応できます。しかし、これだけ差のある環境の行ったり来たりは、体にとっては大きなストレスです。身体の働きをコントロールするのが自律神経。その働きが乱れることで体の色々な所にトラブルがおきてしまうのです。

そんな時にオススメなのが“**牛黄製剤**”

神経の働きを整え、トラブルを解決してくれます。動悸・息切れ・気力低下・イライラ・不眠・発熱という様々な症状に“**牛黄製剤**”は最適です!牛黄を飲めば元気・健康!服用後心身共に爽快になりますよ。なかでも『日水清心丸』が1番オススメです。動物生薬3種、植物生薬9種を配合。皆様に本当に喜んで頂いている最高の商品です。

EXILEのメンバーも“元気玉”と呼んで、コンサート前に必ず飲んでいました。日頃の練習の疲れを取って努力の成果を出すために。また、**受験生必見**です!受験による緊張と疲れ。受験前の煮詰まった時期に効果的です。韓国では、受験生の必需品として、1人1個を必ず持って受験会場へ向かうそうですよ。それ以外には、仕事など頭をよく使う人で、脳が動かない(思考がまとまらない)場合や大事なプレゼン前に。病気がなかなか回復しない、調子を崩すと長引く方。長時間乗り物の運転をされる方などにも効果的です。

——消費税率引き上げ前の漢方堂からのご案内です——

平成26年4月1日より、消費税率が5%から8%へ引き上げが施行されます。それに伴い、増税前の商品の買い込みをお考え中のお客様は、早めに店主または、スタッフまでご相談ください。商品によっては、大量入手が困難な場合がございますが、ご了承をお願い申し上げます。